

令和 5 年度
(2023 年度)

学校関係者評価報告書

令和 5 年(2023 年) 4 月 1 日から
令和 6 年(2024 年) 3 月 31 日まで

令和 6 年(2024 年) 8 月 26 日

学校法人吉田学園
吉田学園動物看護専門学校

■令和5年度 学校関係者評価について

〈説明〉

より高い専門職種を輩出する学校としての特性を活かしつつ、本校の実践的な職業教育にかかる活動等を評価し、改善・支援等を行うことにより、学生が関連業界等のニーズを踏まえた質の高い職業教育を享受できるように学校運営の改善と、発展を目指した学校評価を行うことを目的に実施する。

1. 対象期間

令和6年8月26日(月) 14時30分～16時

2. 実施場所

吉田学園動物看護専門学校 しつけトレーニング室

3. 実施方法

(1)実施組織: 学校関係者評価委員会

○評価委員:鳥越 慎吾 北海道小動物獣医師会 会長
今道 昭一 きたのさと動物病院 院長
立石 淳子 北海道愛玩動物協会 代表
棚橋 瑛知恵 株式会社 ROCOCO 代表取締役社長

○学校関係:滝本 玲 校長
古久保 英樹 学科長
前鼻 彰人 愛玩動物看護師学科 主任
山本 美紀 トリマー学科 主任

(2)評価基準:文部科学省「専修学校における学校評価ガイドライン」に準拠しています。

(3)評価方法:令和5年度(2023年度)学校運営・教育活動実績報告書に対する学校関係者評価。

4. 評価項目

次の11項目について実施

- (1)教育理念・目標
- (2)学校運営
- (3)教育活動
- (4)学修成果
- (5)学生支援
- (6)教育環境
- (7)学生の受け入れ募集
- (8)財務
- (9)法令の遵守
- (10)社会貢献・地域貢献
- (11)国際交流

5. 評価項目に対する評価

(1) 4段階で点数評価しました。

4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

(2) 委員会で提出された意見や質疑、提案事項を記載

○項目4 学修成果

(学校より)

・2022年度のトリマー学科廃科と、動物看護学科の学科変更によりやむを得ず退学となった学生が数名出た。

組織的対応の強化、休退学傾向学生の早期把握、学生生活の充実など、可能な限り当初たてた対策を実施し対応してきたが、学内指導の範囲を超える状況が多く、目標としていた数字には至らなかった。

○項目7 学生の受入れ募集

(学校より)

・学生募集活動の成果が上がっていないため、収支が厳しい状況にある。

・各種施策を実施したが、当初の活動入学者目標（入学者数、オープンキャンパスからの出願数）を達成することができなかった。

(委員より)

・入学生確保のために、どのような対策を打ち出していくのかについて伺いたい。

(学校より)

・まず、本校の特色である「動物愛護」の校訓をしっかりと打ち出すこと及びペット防災、動物の栄養学など他校との違いをPRしていく。また、市内動物病院の協力を仰ぎ、入学対象者にとって魅力あるオープンキャンパスを企画する。

(委員より)

・全体的に動物看護師希望者は増えているのでしょうか。

(学校より)

・希望者が減少傾向にある。特に愛玩動物看護師国家試験の受験に変更となったことにより、「難易度が上昇した」ように捉えられたと推測する。また、18歳人口（高校卒業予定者）が減少し、地方に限らず札幌市内の高校も定員割れの現状にあり、全ての空知管内の高校が定員割れをおこしている。この様な状況から4年制大学への進学が容易になっており、本校への進学者が減少する情勢にある。

(委員より)

・高校生が少なくなっているのであれば、既卒者に目を向けてみてはどうか。

(学校より)

・既卒者（社会人）向けの制度として、北海道立札幌高等技術専門学院が指定する教育訓練を修了した際に授業料等が支給される長期高度人材育成コースがある。そのため、既卒者が学費の全額を自己負担しなければならない講座を選択しない傾向にある。この制度は2年間のコースであることが条件であるため、3年制の愛玩動物看護師がより難しい職業選択になったと考えられる。

○項目8 財務

(学校より)

・トリマー学科とトリマー専攻科の閉科に伴い、講師見直しや備品・消耗品の削減を実施する。

・愛玩動物看護師学科定員30名確保に向けた取組みとして、本校の校訓「動物愛護」をしっかりと訴求し、ペット防災や動物に関する栄養学等、他校に対する優位性をピーアール

していく。

- ・教育の部分では資格取得率、在籍率などの学生への指導をしっかりとっていくこと。更に、イベントを多く取り入れることや、バドミントン・バレーボール部の活動など、他校との差別化を図っていく。
- ・休退学者ゼロを目指して、タスクを細分化した授業展開(スモールステップ)を行い、愛玩動物看護師資格へのモチベーションの維持、向上を目指す。また、長期休暇明けに学内イベントを実施することで、学業以外のコミュニケーション機会を設ける。

6. その他

(1) 以下、令和5年度(2023年度)学校自己点検・評価を併せてご覧ください。

項目1 教育理念

- ・項目評価 4.0
- ・特に課題はなかった。

項目2 学校運営

- ・項目評価 4.0
- ・特に課題はなかった。

項目3 教育活動

- ・項目評価 4.0
- ・特に課題はなかった。

項目4 学修成果

- ・項目評価 3.8
- ・学内指導の範囲を超える状況が多く、目標としていた数字には至らなかった。

項目5 学生支援

- ・項目評価 4.0
- ・特に課題はなかった。

項目6 教育環境

- ・項目評価 4.0
- ・特に課題はなかった。

項目7 学生の受入れ募集

- ・項目評価 3.7
- ・高校生へのPR手法の間違い

項目8 財務

- ・項目評価 3.5
- ・在籍者数が減少傾向にあり、財務基盤に影響が見受けられる。募集活動の強化と退学者の減少、継続的に予算の厳格化に努める。

項目9 法令等の遵守

- ・項目評価 4.0
- ・特に課題はなかった。

項目10 社会貢献

- ・ 項目評価 4.0
- ・ 特に問題はなかった

項目11 国際交流

- ・ 無評価
- ・ 留学生の実績がなかった

以上